



2015年度 化学工学会インターンシップ体験談

氏名	清水 翔太		
所属	九州工業大学 大学院	専攻 学年	物質工学専攻 修士1年
研修先企業	株式会社クレハ	部署	プロセス開発研究室
研修場所	いわき事業所		
研修テーマ	ポリグリコール酸反応条件の改善		
研修期間	2015年8月20日～8月28日		

応募経緯と目的

➤ 応募経緯

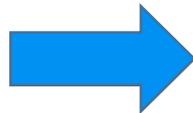
- 就職活動をする前に企業で働くイメージを掴みたい
- 今まで学んできた化学工学の知識が実際の現場でどのように活かされているのか？
- 研究室の先輩が参加しており興味があった



化学工学に特化しているインターンシップに応募

➤ 目的

- 大学(研究室)と企業の違いを知る
- 化学工学が企業でどのように活かされているかを知る



就職活動に活かしたい！

研修テーマ概要

研修テーマ: ポリグリコール酸反応条件の改善

グリコール酸



ポリグリコール酸

出発原料

- グリコール酸
- 水
- **その他不純物**



ペレット

http://www.kureha.co.jp/business/material/img/kuredux/img_02.jpg

シェールガス掘削用素材などに用いられ注目を集めている

不純物除去の手段 = 沸点差を利用した蒸留精製



高効率な蒸留精製技術の構築を目指す

今回の研修では、不純物が蓄積した系にて蒸留精製を実施し、その効果を検証した

研修内容

- 安全教育・・・指差し呼称の徹底
- 研究所、工場見学・・・生産現場だけではなくパイロットプラントも
- 蒸留実験・・・ロングラン時を想定した実験
- プロセスシュミレータ体験・・・ソフトを用いてプロセス設計のシミュレーション

研修の結果得たもの①

- 研究室と企業の違い

	研究室(自分)	企業
求めるもの	結果を最優先	結果、利益、納期全て大事
周囲の人	同世代	様々な年代の方
居室の雰囲気	楽しい	以外とアットホーム
時間	昼からだったり、夜までだらだらしたり	しっかり決められている (8:30~17:00)

- 化学工学の重要性

様々な場面で化学工学の知識が使われる

もちろん化学工学以外の分野の学問も

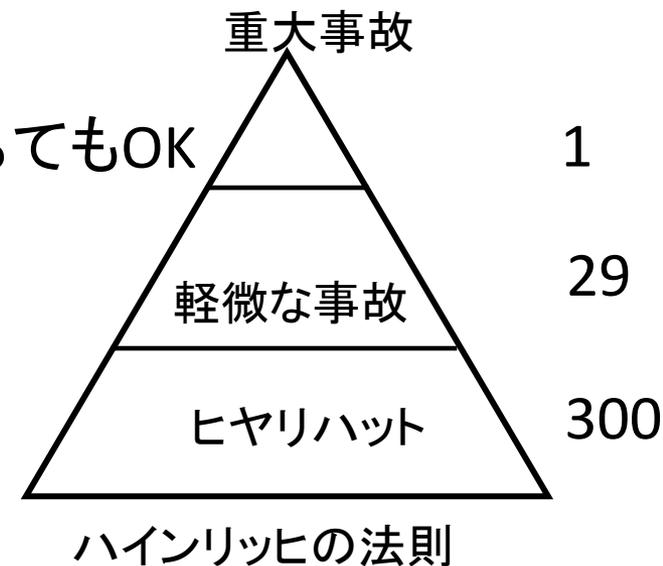
研修の結果得たもの②

- コミュニケーションの重要性
一人で仕事をするわけではない
ほとんどグループで

研修中は社員さんが面倒をみてくれました

- 安全が最優先

- 靴はつま先がかなり固い→重い物が落ちててもOK
- プラントではヘルメット、保護眼鏡着用
- 指差し呼称
- KYT(危険予知トレーニング)
不安全行動、不安全行動をなくす



研修を終えての感想

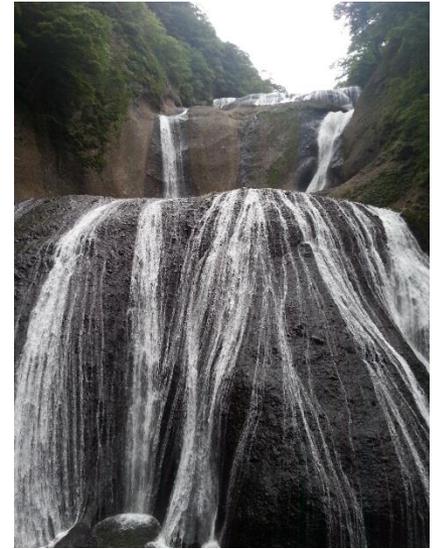
- 将来化学メーカーで働くビジョンが見えた
- 就職活動に対してのモチベーションが向上した
- 企業の方との飲み会でいろいろなお話をきくことができた
- インターンシップ生と交流し、情報を共有できた



大学生活では体験することが出来ない時間を過ごせた

◆今後の目標

- 化学工学の知識を深める
- 生活面の改善



袋田の滝

休日に若手社員さんに連れて行って頂きました

後輩への紹介

➤ぜひ学会主催のインターンシップに参加しましょう!!

- 化学メーカーの開発プロセスや生産技術職の仕事を体験できるいい機会
- 仕事だけではなく様々なことを体験できる
- 遠方なら交通費、宿泊費を負担してくれる企業がほとんど
- 就職サイトのインターンシップより参加しやすい

→92人の応募があり41人が実習(化学工学(会誌),Vol.80 No.1(2016)より)

今年度インターンシップを行った企業・・・三菱化学、日揮、東レ、住友化学など

日程調整に気をつけてください！



謝辞

この度、インターンシップという貴重な機会を提供して頂いた株式会社クレハの皆様に心より感謝いたします。

また、お忙しい中、貴重な時間を割いて面倒を見てくださったプロセス開発研究室の皆様に深くお礼申し上げます。

ありがとうございました。